

<資料5-1> R2年度 実施状況について【幼年就学期部会】

テーマ：子どもと親の居場所づくり+(プラス)

基本理念

【幼年期】誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを展開します。

【就学期】豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

R2年度 部会で深掘りする課題	現在の状況	部会での意見	R2年度の取り組み	R6に 目指す姿
【保育等の受入態勢】 (主体:こども課) 保育士不足などで、子どもたちの受入態勢に懸念が生じている。	・保育士だけでなく児童クラブ支援員なども不足しており、パートタイム職員を雇うなどして対応しているが、人材不足は解消されていない。	・給料アップが効果的だが、それ以上に職場環境や人間関係が良ければ簡単に辞めないし友人等を誘ってくれる事もある。 ・仕事の内容や働きがいを知ってもらうことが大切。	・保護者へ募集チラシを配布するなど広報手段を拡大する。 ・実習生などに働きがいのある魅力ある職場をPRする。 ・城山高の取り組みをKCTVで放映。	プラス発信力(発信の仕方) ◆こどもたちが安心して過ごせる「居場所」がある。 ◆その「居場所」を継続するためのサポート体制を構築する。
【外国人とのコミュニケーション】 (主体:教育委員会) 外国人移住者が増える中で日本語が十分でなくコミュニケーションが難しい人・地域があるのでは。	・どんな状況で言語の壁を感じるのか実態は把握できていない。 ・日本語教室が開けたとしてもニーズがあるかも不明。	・子どもを対象とした取り組みなのか。 ・どういった困り事があり、その対象者がどれだけいるのか実態把握が必要。 ・誰に向けた対策を講じるか焦点を絞る必要がある。	・幼年就学期に関わる保幼小中の先生などから、外国人保護者との面談等で得た当事者及び学校での困り事などの状況や支援施策を把握する。	
【公園の整備・周知】 (主体:建設課、部会事務局) 市内に遊べる公園が少ない。どんな公園があるのか知らない。	・新しい公園を整備するのは土地や予算の問題で難しい。 ・公園自体は多いが、場所や設備状況の分かるマップが少ない。	・コロナ対策もあり、手洗い場があるか知りたい。なければ整備も必要ではないか。 ・QRコードで360度ビューが見れるようにすれば、広さ、遊具や手洗い場の有無、周囲の環境など、選択肢を判断できる。 ・公園以外にも憩いの場はある。	・手洗い場や駐車場等、設備情報を写真や動画で提供できないか検証する。 ・子育てガイドブックの改訂に合わせ、QRコード付きのマップページを作成する。	
【朝食の摂取】 (主体:健康対策課、学校教育課) 朝食を摂らない子どもがいる。親に必要性を啓発しても改善されないケースもある。	・保護者に朝食を食べる習慣がないと、子どもも食べていない場合が多い。 ・パパママ教室等で親になる前からの指導している。 ・小学5年生に朝食づくり事業を実施している。	・「動画」で「簡単で見た目がかわいいレシピ」を紹介する等、仕掛けが必要。 ・朝食を摂らない保護者に「なぜ必要なのか」が伝わるようにしないと。 ・一つの取り組みをしても効果が薄いので学校や家庭などでいろんな手を打つ。	・YouTubeを活用して離乳食や簡単にできるレシピ等を情報発信する。(R2.6~健康対策課) ・食育に関する情報をより多くの方に見てもらうためSNSを利用して情報発信をしていく。	

★ R2年度 バージョンアップ【PICK UP!】

・こうなんファミリーサポートセンター (拡充)
 (こども課、社協)…預かり場所の拡大(にこなん 等)

・放課後児童クラブ施設整備事業 (拡充)
 (こども課)…増設し、待機児童を解消へ

基本理念

【成年期】 誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

【熟年期】 にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。



【テーマの具体化】
(主体:部会事務局)



【大項目】「健康で楽しく、地域で暮らす」
今年度からのテーマは令和元年度の具体化

「健康＝ウォーキング＝誰でも行いやすい」の共通認識のもと現行施策の拡充。

テーマは「ウォーキング＆サイクリングで健康増進」
～いい汗かいて健康生活～(案)

- ・このテーマはイメージ図にあるように生きがいや健康等いろいろなことにつながる。
- ・移住や結婚支援と共に柱の1つと位置付けて考えていくべきではないか。
- ・健康は体だけでなく心も大事。コロナの影響で社会参加の機会が減っているのが心配。
- ・「健康増進」ではなくもっと柔らかい表現ができないか。
- ・もっと若者や子どもの意見を聞きたい。
- ・旧野市町時代に実施していたフットパス事業を見直してみてはどうか。

- ・各課で行っているウォーキング、サイクリング事業が一覧で分かるパンフレットを作成。
- ・現在も健康対策課と商工観光課で共同開催してる健康サイクリング事業のように他の課でも連携できる内容がないか検証し実施していく。(例：三世代交流サイクリング大会)
- ・ケーブルテレビや新しい媒体、フェイスブック・ユーチューブ等を使用し多くの方に情報発信を行っていく。

◆健康で楽しく地域で暮らすことができる。

◆住みたいまち、住んで良かったと思えるまちになる。



人口増につながる

【高齢期への備え】
(主体:部会事務局)

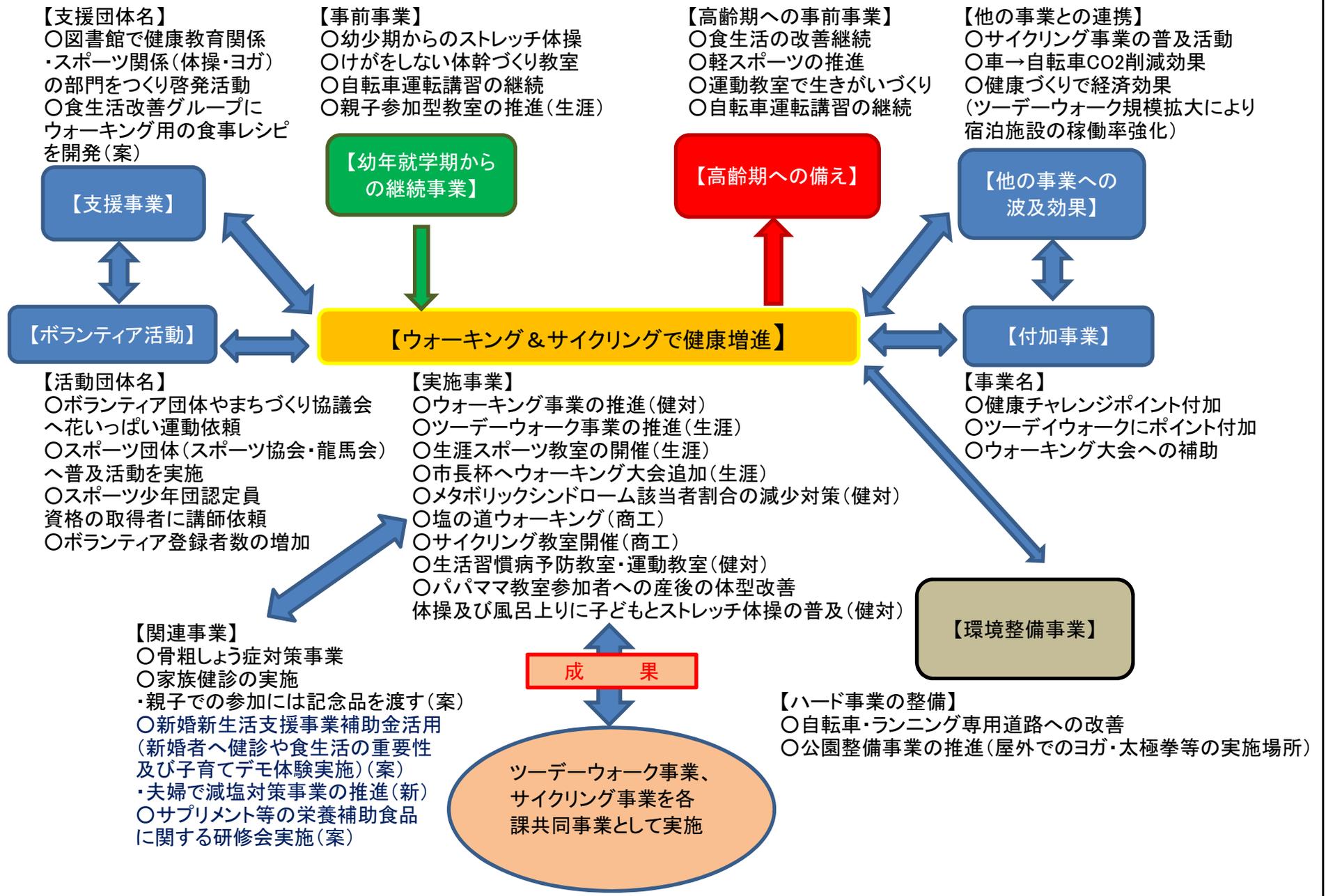
公共交通機関利用や詐欺対策、食事の講習の開催を充実する必要がある。

移動手段やごみ問題等は高齢期部会へ引き継ぐ。
詐欺対策や食事の講習の充実等については成年熟年部会での検討も続ける。

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

- ・健康増進に向けた取組…ウォーキング(拡充)【主体：生涯学習課】…ツデーウォークの参加料見直し等
サイクリングで健康増進につながる取組(新規)【主体：商工観光課】…サイクリストにやさしいまちへ(サイクルラック導入等)
- ・地域コミュニティの維持確立…集落活動センターの立ち上げ(新規)【主体：地域支援課】…香我美町岸本地区が取り組んでいる活動を支援
- ・健診受診率向上に向けた取組…休日健診の日数増加(拡充)【主体：健康対策課】…40～50代が受診しやすい休日健診の日数を増加

【成年熟年期中期継続事業の骨格(イメージ図)】



【高齢期】健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

R2年度 部会で深掘りする課題	現在の状況	部会での意見	R2年度の取り組み	R6に目指す姿
<p>【移動支援】 (主体:高齢者介護課・地域支援課)</p> <p>「医療機関送迎サービス事業」については要支援1・2の方は自身で移動できる方もいるため対象になっていないが、対象に入れる必要があるのか現状把握が必要。</p>	<p>・R2年度赤岡町において民間デイサービス事業者が試験的にボランティアで、いきいきクラブの送迎を8月からスタートする。</p> 	<p>・通院している人は要介護というよりはある一定元気な人が多い。免許返納者も増えているので対象を拡大することが生活支援・移動支援につながるのではないかと。</p>	<p>・「医療機関送迎サービス事業」については、要支援1・2の方の現状を把握するため、介護予防プランセンターのケアマネに聞き取りを行う。</p> <p>・「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」は、10/17に運転者講習、12月末までに視察研修(岡山県)を行う。</p>	<p>◆高齢となり、虚弱となっても認知症となっても、できる限り住み慣れた自宅でこれまでの生活を続けていける環境</p> <p>◆地域での支え合いがあり、住んで良かったと思える環境</p>
<p>【ごみ出し支援】 (主体:高齢者介護課、環境対策課)</p> <p>「高齢者(要支援・要介護)のごみ出しに困っている」という現場の声がある。 ※当日8時までにゴミステーションに出す必要があり、ヘルパーが入る時間帯では間に合わない。</p>	<p>・実際に困っている人がどれくらいいるのか実人数の把握ができていない。</p> 	<p>・前日の夜からごみを出すのは臭い問題もあり、地域の反発があるのではないかと。</p> <p>・近隣で実施しているところがあればどういう形でしているのか資料を見せてほしい。</p>	<p>・南国市では対象者が40人程度で、会計年度職員(2人)が回収して直接処分場へ持ち込んでいる。参考とするため、7/27に聞き取りを実施。</p> <p>・実際に困っている人が、最終的にどう処理しているか調査する。また、回収コース、件数を一定想定するため、ヘルパー、ケアマネから調査して該当者宅を地図に落とす。</p> <p>・関係課とシルバー人材センターと実施方法を協議する。</p>	

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

- ・住民主体の受け皿づくり研修会(拡充)【主体：高齢者介護課】…視察研修や運転者養成研修を実施
- ・市営バス活用の取組「市営バスお試しセット」(拡充)【主体：地域支援課】…65・75歳を迎える市民へ「市営バスお試しセット(お試し券や路線図等)」を配布